

第10回北上市史編さん委員会（要旨）

日時：令和2年8月27日（木）午後1時25分～2時20分

場所：北上市役所 庁議室

出席者

委員：9名

事務局

次第

1 開会

2 あいさつ 及川委員長

3 報告

（1）進捗状況について

①各部会の進捗状況について

<質問等>

- ・最初に刊行する自然の見通しはどうか？
←余裕をもって計画を立てていたが状況が変わり、詰まった日程になっている。厳しい状況だが3月刊行を目指す。
- ・原稿が一部出ていないことと、ぎょうせいの動きはどのような状況か？
←残りの原稿については来週の会議で見通しを立てる予定。ぎょうせいからの校正の戻りが少しずつ先に延びている。
- ・前回の委員会で自然の原稿を確認したが、中世班の今後の予定欄に編さん委員会等での編集作業とは同じものか？
←同様のもので、入稿前原稿について編さん委員会で確認していただきます。
- ・（ドローンによる写真撮影について）国見山の撮影を希望する。

4 協議

（1）市史のデザインについて

○ **B案を基本デザインとし、題字は揮ごうのような既存の字体をあしらうこととした。**

<質問等>

- ・無難なのはB案と思う。他は一般的でないと思う。統一して使用するのか？
←全巻統一して使用する。ただし通史編のみ決定したデザインにカバーを使用する。
- ・B案がいいと思う。シンプルで将来的に飽きない。また、A案の笹リンドウは鎌倉の文様だから止めたほうがいいと思う。
- ・笹リンドウにウェイトが置かれるのはマズイと思う。
- ・B案の字体はよく使われている既存のもの。

- ・市民から題字を募集してはどうか？
 - ・詩歌文学館ゆかりの文学者に揮ごうを依頼してはどうか？
- ←スケジュール的に困難であり対応できない。

5 その他

- ・民俗の補足調査は随時行っているのか？
- ←コロナウィルスの影響で進んでおらず、調査の希望はあっても話者との調整が取れていない。
- 次回は1～2月の開会し、特別編自然の最終原稿と、特別編民俗と資料編古代・中世の入稿前原稿を確認していただく予定。